



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 チタン工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4098 URL <http://www.titankogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 井上 保雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 西田 敦

TEL 0836-31-4155

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	8,761		514		512		401	
2019年3月期								

(注) 包括利益 2020年3月期 361百万円 ( %) 2019年3月期 百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	133.34		6.5	4.0	5.9
2019年3月期					

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 16百万円 2019年3月期 百万円

(注)2020年3月期第2四半期より連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期の数値及び対前期増減率については記載しておりません。また、自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	12,733	6,559	48.6	2,059.62
2019年3月期				

(参考) 自己資本 2020年3月期 6,194百万円 2019年3月期 百万円

(注)2020年3月期第2四半期より連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期の数値については記載しておりません。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,872	2,005	72	898
2019年3月期				

(注)2020年3月期第2四半期より連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期				30.00	30.00	90	16.1	1.6
2020年3月期				30.00	30.00	90	22.5	1.5
2021年3月期(予想)								

(注)2020年3月期第2四半期より連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期の配当性向及び純資産配当率については単体ベースで記載しておりません。また、2020年3月期の純資産配当率は連結初年度のため、期末1株当たり純資産額に基づいて計算しております。

2021年3月期の配当につきましては、現段階では未定としております。具体的な配当金額につきましては、決定後速やかに公表いたします。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

#### 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数

2020年3月期	3,027,626 株	2019年3月期	3,027,626 株
2020年3月期	20,147 株	2019年3月期	19,872 株
2020年3月期	3,007,655 株	2019年3月期	3,007,947 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、2019年9月30日付でチタン酸リチウム事業を分社化いたしました。これに伴い、2020年3月期第2四半期より連結財務諸表を作成しております。
2. 業績予想等の将来に関する記述につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、政府による経済政策や日本銀行の金融緩和策及び堅調な米国経済を背景に、緩やかな回復基調が続きましたものの、米中貿易摩擦の深刻化及び新型コロナウイルス感染症の影響など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもとで、当社グループは、3カ年の第5次中期経営計画（2019年3月期～2021年3月期）に基づき、当社グループの強みが生かせ、かつ、成長が見込める事業については、設備投資や研究開発投資など経営資源の集中化を推し進め、一方、収益性が低い事業については、その将来性等に検討を加え、販売の大幅縮小やコスト構造の抜本的改革に取り組むなど、グループ全体の収益力を強化するとともに新たな基盤作りを推進してまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は8,761百万円、営業利益は514百万円、経常利益は512百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は401百万円となりました。

なお、当社は、株式会社東芝とのチタン酸リチウム合弁事業を開始するにあたり、2019年7月12日に当社の100%子会社として株式会社TBMを設立し、2019年9月30日を効力発生日として、当社のリチウムイオン二次電池向けチタン酸リチウム事業に関する権利義務の一部を、株式会社TBMに承継させる会社分割を行っており、これに伴い、当第2四半期より連結決算に移行しております。

当連結会計年度より連結財務諸表を作成しておりますので、前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

## (酸化チタン関連事業)

酸化チタン関連事業につきましては、酸化チタン機能製品の拡販に取り組みました。その結果、当セグメントの売上高は6,712百万円、営業利益は642百万円となりました。

## (酸化鉄関連事業)

酸化鉄関連事業につきましては、汎用品向け及び化粧品向け製品の拡販に取り組みましたものの、一部新製品の出荷時期が遅れました。その結果、当セグメントの売上高は2,003百万円、営業損失は147百万円となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における総資産の残高は12,733百万円となりました。主な内訳は、受取手形及び売掛金1,563百万円、商品及び製品2,006百万円、建物及び構築物2,294百万円、機械装置及び運搬具3,324百万円であります。

## (負債)

当連結会計年度末における負債の残高は6,173百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金557百万円、短期借入金1,400百万円、長期借入金1,623百万円であります。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は6,559百万円となりました。主な内訳は、資本金3,443百万円、利益剰余金2,323百万円であります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は898百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは1,872百万円となりました。これは、仕入債務の減少(△530百万円)などの資金減があったものの、税金等調整前当期純利益(496百万円)、減価償却費(701百万円)、売上債権の減少(790百万円)などの資金増によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは△2,005百万円となりました。これは、関係会社株式の売却による収入(44百万円)などの資金増があったものの、有形固定資産の取得による支出(△2,060百万円)などの資金減によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは72百万円となりました。これは、長期借入金の返済による支出(△629百万円)などの資金減があったものの、短期借入れによる収入(300百万円)、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入(500百万円)の資金増によるものであります。

## (4) 今後の見通し

当社グループは、当連結会計年度に、現在進行中の第5次中期経営計画（2019年3月期～2021年3月期）の想定を上回る需要に対応するため、化粧品向け超微粒子酸化チタン製造設備（ST-6工場）の増設を決定いたしました。また、チタン酸リチウムにつきましては、グローバル市場でのビジネス展開に対応するため、株式会社東芝との合弁事業を開始し、当社グループを取り巻く事業環境は大きく変化いたしました。

加えて、翌連結会計年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響など、先行き不透明な状況が続くものと思われま

す。このような状況下で、当社グループは、事業戦略の再構築及びグループ経営の強化を推進するため、第5次中期経営計画（2019年3月期～2021年3月期）の最終年度を初年度とする、新規の3カ年の中期経営計画を策定中であります。翌連結会計年度につきましては、この新たな中期経営計画に基づき、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上の実現に向け邁進してまい

る所存であります。なお、今後の我が国の経済及び海外経済の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が見込まれ、経済のさらなる下振れリスクにも注意が必要な状況となっております。このような環境の下、当社グループも大きな影響を受ける可能性があります。同感染症が収束する時期を現時点で見通すことは難しく、業績への影響を合理的に算定することは困難であると判断いたしました。従いまして、今後の業績予想は現時点では未定とさせていただきます。合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間の比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

		当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金		908
受取手形及び売掛金		1,563
電子記録債権		230
商品及び製品		2,006
仕掛品		674
原材料及び貯蔵品		426
その他		20
流動資産合計		5,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）		2,294
機械装置及び運搬具（純額）		3,324
土地		231
リース資産（純額）		1
建設仮勘定		42
その他（純額）		229
有形固定資産合計		6,124
無形固定資産		
		6
投資その他の資産		
投資有価証券		598
繰延税金資産		52
その他		121
貸倒引当金		△1
投資その他の資産合計		771
固定資産合計		6,902
資産合計		12,733

(単位：百万円)

当連結会計年度  
(2020年3月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	557
電子記録債務	230
短期借入金	1,400
1年内返済予定の長期借入金	559
リース債務	1
未払法人税等	89
賞与引当金	151
その他	869
流動負債合計	3,860
固定負債	
長期借入金	1,623
退職給付に係る負債	685
資産除去債務	3
固定負債合計	2,313
負債合計	6,173
純資産の部	
株主資本	
資本金	3,443
資本剰余金	402
利益剰余金	2,323
自己株式	△40
株主資本合計	6,128
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	144
為替換算調整勘定	22
退職給付に係る調整累計額	△100
その他の包括利益累計額合計	66
非支配株主持分	364
純資産合計	6,559
負債純資産合計	12,733

(2)連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
売上高	8,761
売上原価	7,083
売上総利益	1,677
販売費及び一般管理費	1,162
営業利益	514
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	11
持分法による投資利益	16
貸倒引当金戻入額	10
その他	20
営業外収益合計	59
営業外費用	
支払利息	42
その他	19
営業外費用合計	61
経常利益	512
特別損失	
固定資産除却損	10
関係会社株式売却損	5
特別損失合計	16
税金等調整前当期純利益	496
法人税、住民税及び事業税	42
法人税等調整額	30
法人税等合計	73
当期純利益	422
非支配株主に帰属する当期純利益	21
親会社株主に帰属する当期純利益	401



(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益		422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		△65
退職給付に係る調整額		35
持分法適用会社に対する持分相当額		△30
その他の包括利益合計		△61
包括利益		361
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益		339
非支配株主に係る包括利益		21

## (3)連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,443	292	1,979	△39	5,676
当期変動額					
剰余金の配当			△90		△90
連結範囲の変動			32		32
親会社株主に帰属する 当期純利益			401		401
自己株式の取得				△0	△0
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		109			109
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	109	343	△0	452
当期末残高	3,443	402	2,323	△40	6,128

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	210	—	△135	74	—	5,750
当期変動額						
剰余金の配当						△90
連結範囲の変動						32
親会社株主に帰属する 当期純利益						401
自己株式の取得						△0
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動						109
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△65	22	35	△8	364	356
当期変動額合計	△65	22	35	△8	364	808
当期末残高	144	22	△100	66	364	6,559

## (4)連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前当期純利益	496
減価償却費	701
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△66
退職給付費用	23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15
受取利息及び受取配当金	△12
支払利息	42
持分法による投資損益 (△は益)	△16
関係会社株式売却損益 (△は益)	5
売上債権の増減額 (△は増加)	790
たな卸資産の増減額 (△は増加)	370
仕入債務の増減額 (△は減少)	△530
その他	146
小計	1,956
利息及び配当金の受取額	12
利息の支払額	△47
法人税等の支払額	△48
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,872
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△10
有形固定資産の取得による支出	△2,060
投資有価証券の取得による支出	△0
関係会社株式の売却による収入	44
その他	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,005
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	300
長期借入金の返済による支出	△629
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△90
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	500
その他	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	72
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△59
現金及び現金同等物の期首残高	942
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	16
現金及び現金同等物の期末残高	898

## (5)連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、酸化チタン、酸化鉄を基本にして組織が構成されており、各製品単位で包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、「酸化チタン関連事業」及び「酸化鉄関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

「酸化チタン関連事業」は、酸化チタン及び高付加価値品の超微粒子酸化チタン等の製造及び販売を行っております。「酸化鉄関連事業」は、酸化鉄等の製造及び販売を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務 諸表計上 額 (注3)
	酸化チタン 関連事業	酸化鉄 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,712	2,003	8,716	45	8,761	—	8,761
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	134	134	△134	—
計	6,712	2,003	8,716	179	8,896	△134	8,761
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	642	△147	495	13	508	6	514
セグメント資産	7,784	2,152	9,937	55	9,992	2,740	12,733
その他の項目							
減価償却費	473	64	538	0	538	158	697
持分法適用会社への投資額	298	—	298	—	298	—	298
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	855	63	919	—	919	436	1,356

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 調整額の内容は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益又は損失(△)の調整額6百万円は、セグメント間取引消去等によるものです。

(2)セグメント資産の調整額2,740百万円は、各報告セグメントに帰属しない全社共通の資産に係るものであります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 減価償却費は、有形固定資産及び無形固定資産に係るものであり、長期前払費用等は含まれておりません。

## (1株当たり情報)

		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	(円)	2,059.62
1株当たり当期純利益	(円)	133.34

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	401
普通株主に帰属しない金額	(百万円)	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	401
期中平均株式数	(株)	3,007,655

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

以上